

# グローバル30



(2009年度～2013年度)

## ～これまで、そしてこれから～

グローバル30総括シンポジウム「国際化で大学は変わったか」  
平成26年2月14日

文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 国際企画室長  
有賀 理



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 目次

- I. グローバル30以前
- II. グローバル30のこれまで
- III. グローバル30のこれから
- IV. 大学の国際化のこれから



# I. グローバル30以前

## 1983年「留学生10万人計画」(当時約1万人)

- 発展途上国への「支援」

## 2000年以降

- グローバル化の進展
- 外国の優秀な人材を求める産業界からの要請

## 2008年「留学生30万人計画」(当時約12万人)

- 「国益」につなげる戦略的施策
- 国際化の拠点となる大学を30選定する方針

## Ⅱ. グローバル30のこれまで

# 2009年「国際化拠点整備事業(グローバル30)」

## 【背景】

- 世界の大学間競争が激化
  - 一方、日本の大学の国際化は不十分

## 【趣旨】

- 国際競争力の向上を目指し、
  - 優秀な外国人学生や教員の受入れを促進
  - 大学の国際化拠点として、総合的な体制を整備

# 2009年「国際化拠点整備事業(グローバル30)」

## 【主な取組】

- 英語による授業で学位取得が可能なコースの導入
- 国際公募等による外国人教員の配置
- 海外でのリクルート活動(留学フェア、高校訪問等)
- 「海外大学共同利用事務所」の設置

## 【公募・選定】

- 公募により、22大学から申請
- 採択13大学を決定、事業開始

# 2009年「行政事業仕分け①」

- 9月の政権交代に伴い、2010年度概算要求組み直し
  - 新規要求をとりやめ
  - 13大学への継続要求のみ
- 11月「行政事業仕分け」
  - 予算要求額の縮減
  - 支援額が2～3割程度減

## 2010年「行政事業仕分け②」

- 11月「行政事業仕分け」

→ 「一旦廃止し、組立て直し」



- 「産学連携によるグローバル人材育成推進会議」を設置。以下により事業を組み直すよう提言。

→ 国際化に取り組む大学のネットワーク化

→ 産学連携の取組の強化



- 提言を踏まえ、2011年度より事業組み直し

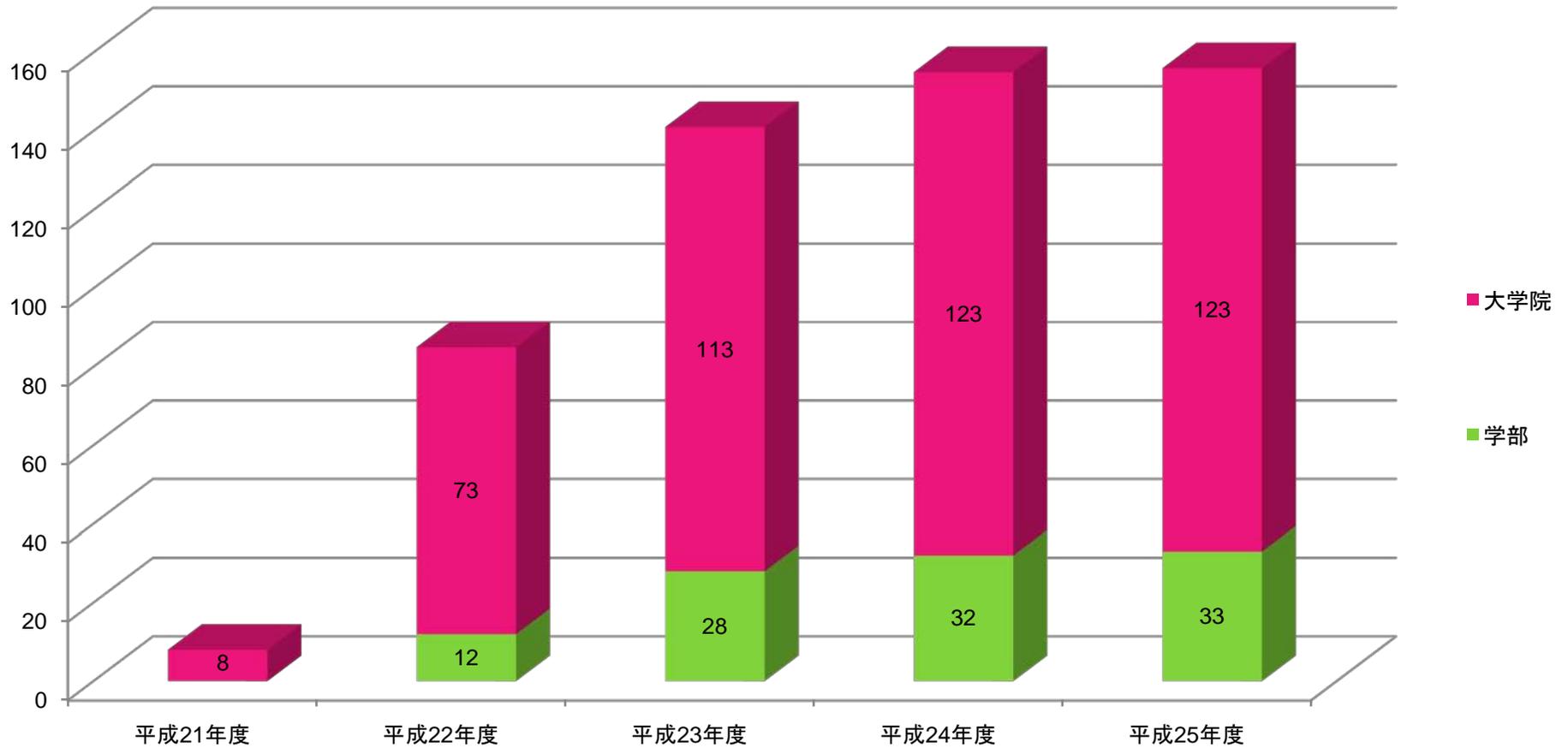
「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」

# 2011年「中間評価」

- 5年の補助事業の3年目に実施。書面評価と現地調査を踏まえ、評価結果をとりまとめ
- 全体評価  
→「採択された13大学において大学の目標や中期計画等において大学の国際化を位置づけ、**大学全体としての国際化が戦略的に推進**されている」
- 個別評価  
→S評価：1大学、A評価：10大学、B評価：2大学

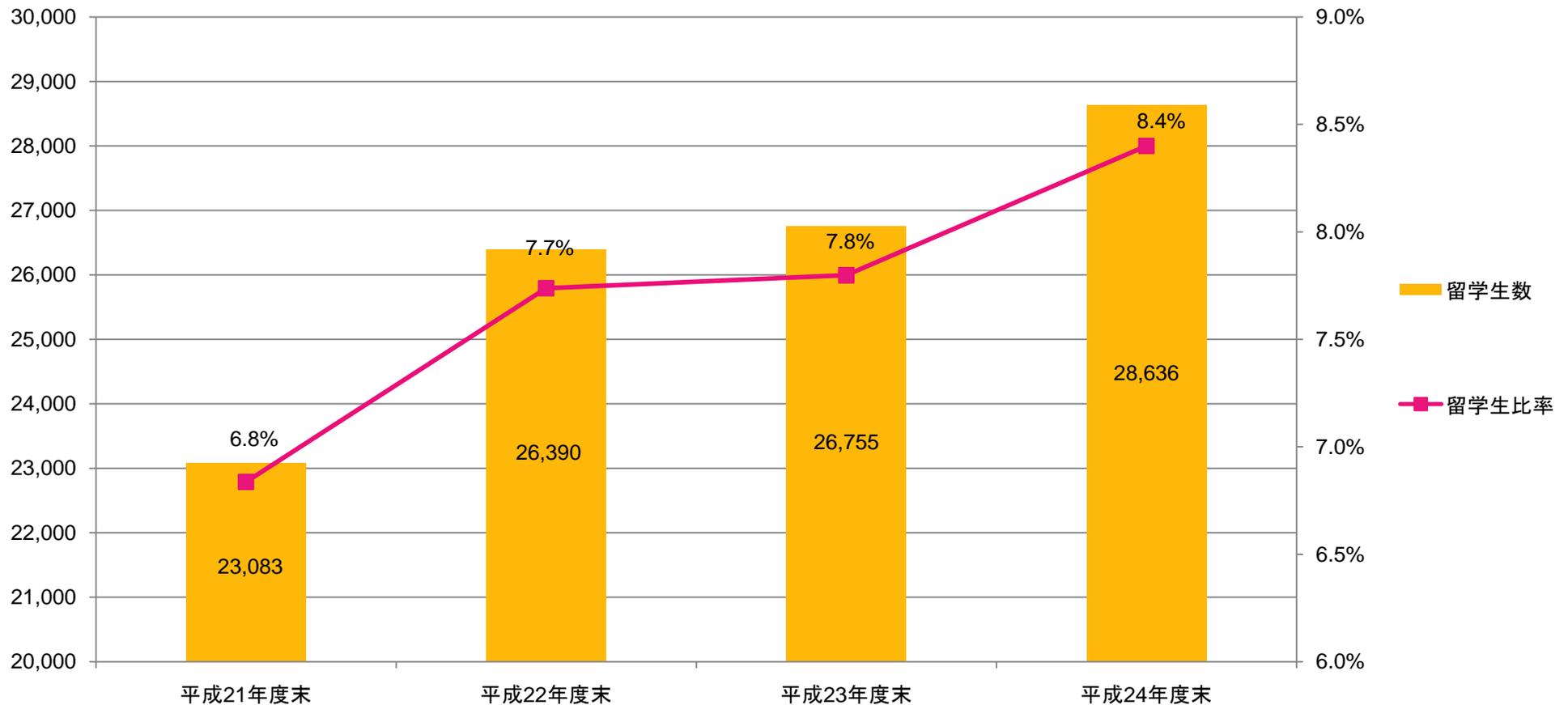
# これまでの「成果」

## ● 英語コースの開設数



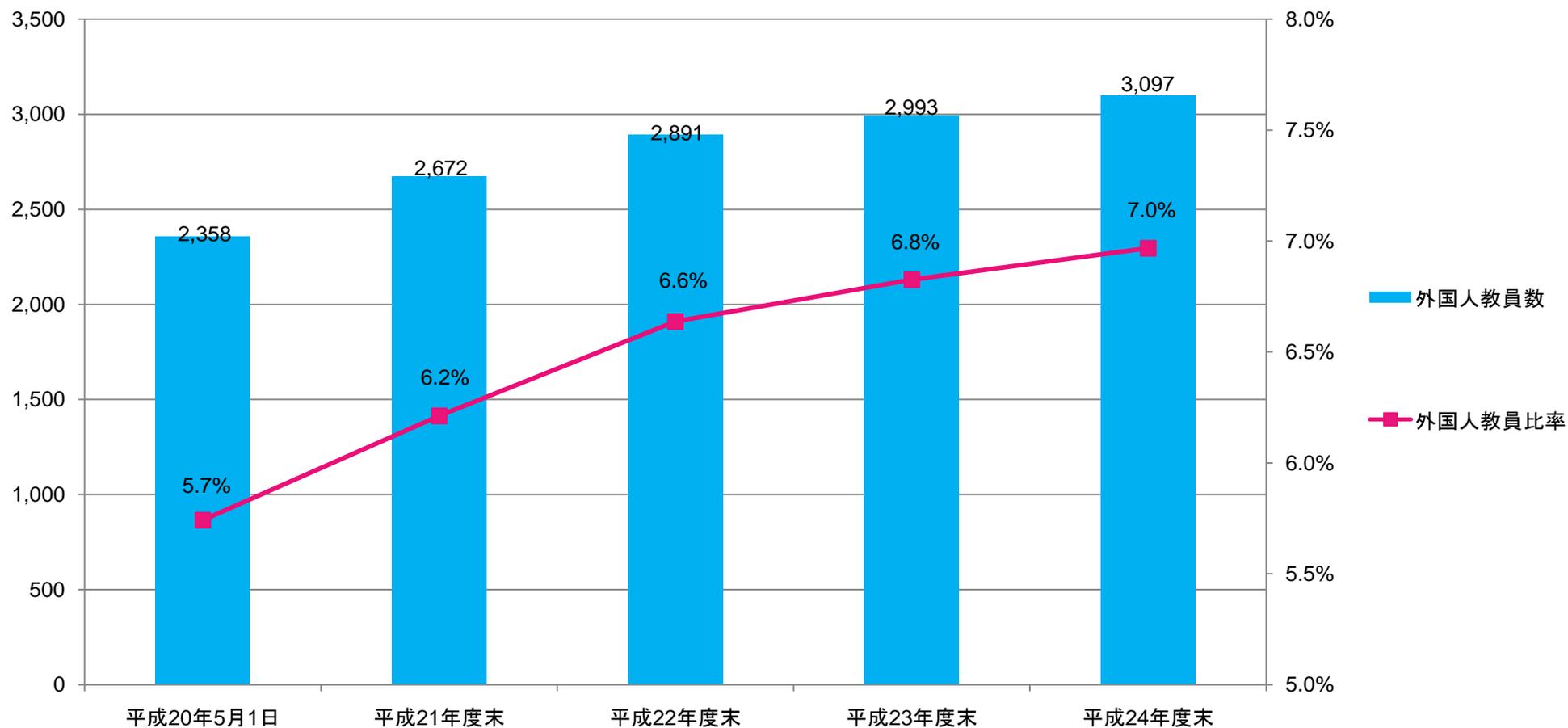
# これまでの「成果」

## ● 留学生の受入数



# これまでの「成果」

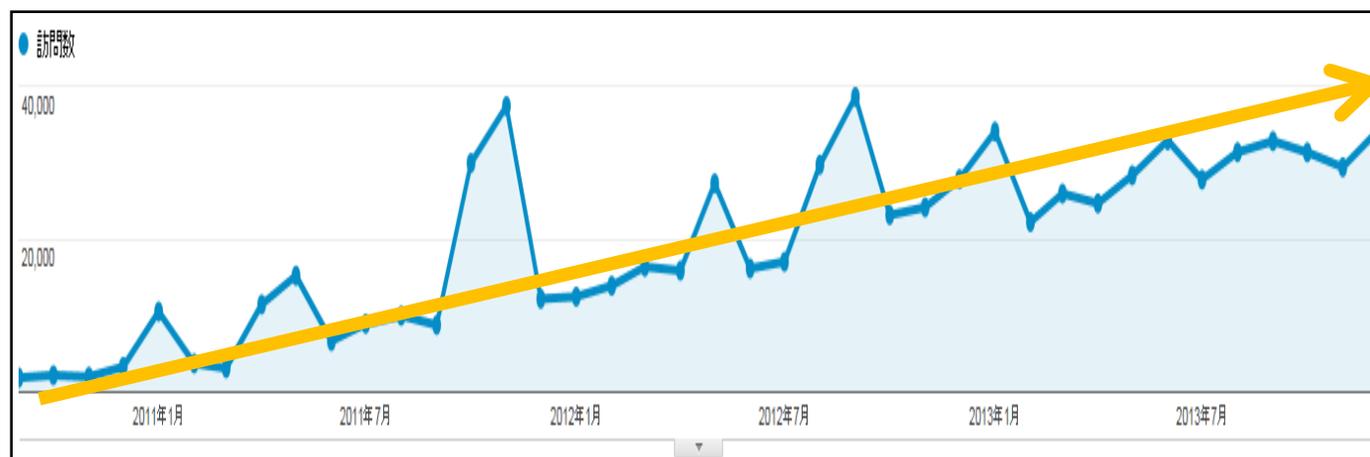
## ● 外国人教員数



## これまでの「成果」

「グローバル30推進事務局」の設置（於：東京大学）

- 「Global 30」ウェブサイト：約78万人が訪問  
（平成22年9月－平成25年12月末）

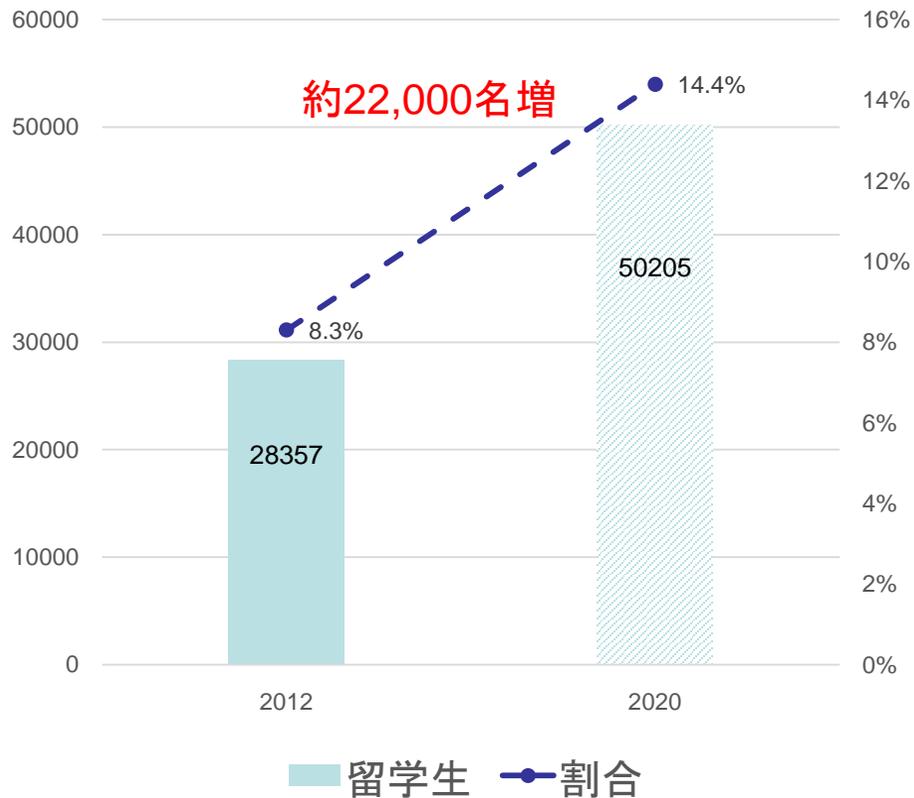


- 留学フェア：約4万人が来場（平成22年1月～平成26年1月）  
（ベトナム、タイ、マレーシア、タイ、インドネシア、  
フィリピン、シンガポール、米国、韓国等で開催）

# Ⅲ. グローバル30のこれから

# 2020年を目指して

## 留学生数とその割合



## 外国人教員数とその割合

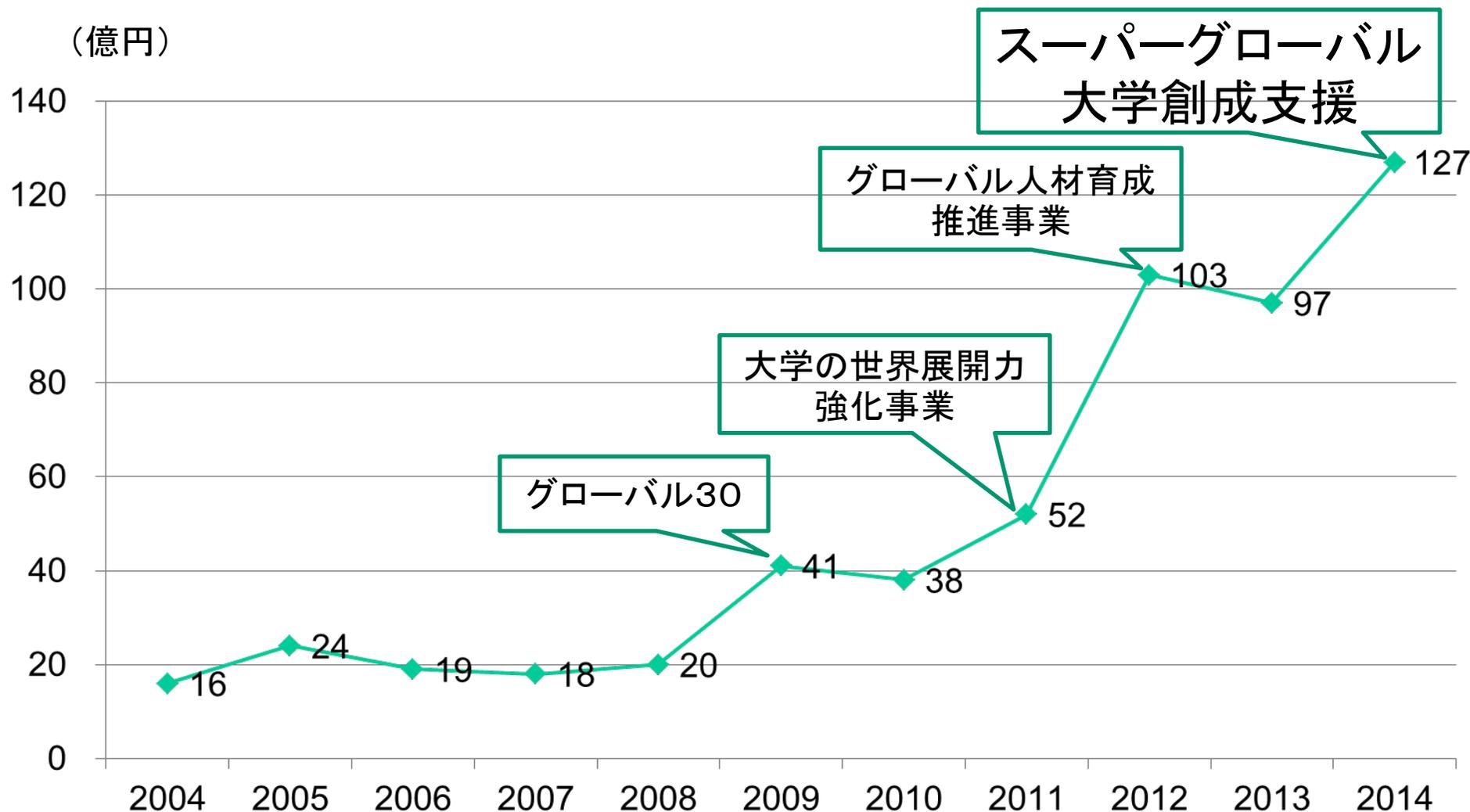


# グローバル30実施により明らかとなった課題

- 外的環境の変化に応じ継続的に変革できる体制
  - 学内全体・学外への一層の波及
  - 国際標準への適合と差別化
  - 日本人学生・留学生に提供する価値の向上
- 大学の国際競争力・国際的評価の向上
- グローバルに活躍できる日本人の育成

# IV. 大学の国際化のこれから

# 大学の国際化に対する支援の拡大



# 大学の世界展開力強化事業

- 大学教育のグローバル展開力の強化を図るため、**質保証を伴った双方向交流を推進する国際教育連携**の取組を支援

(1)「キャンパス・アジア」(H23 10件)

(2)米国大学等(H23 12件)

(3)ASEAN諸国等(H23 3件、H24 14件)

(4)海外政府機関(SEAMEO-RIHED、EU)

(H25 7件(AIMSプログラム)、H25 2件/H26新規4件(ICI-ECP))

(5)ロシア、インド等(H26新規 6件)

# 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援 (H24 42件採択、「**グローバル人材育成推進事業**」を 組み替え)



## ● **学生のグローバル対応力を徹底的に強化し推進する** 組織的な教育体制整備を支援

(1) 全学推進型 (11件): 大学全体での取り組み

(2) 特色型 (31件): 一部の学部等での取り組み

# スーパーグローバル大学創成支援（H26 新規）

- **高等教育の国際競争力の向上**を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により徹底した国際化

(1) トップ型（10件）:

世界レベルの教育研究を行うトップ大学

(2) グローバル化牽引型（20件）:

我が国社会のグローバル化を牽引する大学

# まとめ

- 13大学は変わった。グローバル化は一層加速。
- グローバル化に対応し、**変わり続ける体制**が必要。
- **変わらないことがリスク要因**になりうる。
- 唯一の正解はない。**多様性、差別化**が求められる。

御清聴ありがとうございました



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

---